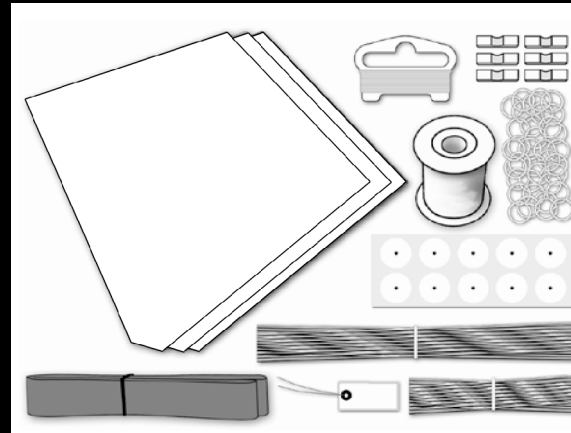


さあ、組み立ててみよう!

みんなで 作ろう 60連凧作成キット

..... ダイヤ型連凧について

目立たない小さな凧が一本のラインで繋がれ連凧になると、天に駆け昇る龍さえ想像させる姿に変化します。一人一人の力が、一つの心の糸で結ばれると人を感動させるほどの大きな力となることをぜひ体験して下さい。



まず、部品を確認してください。

シート	60枚
連凧用ジョイント	60個
縦骨(長)	120本
横骨(短)	120本
補強シール	60枚
シッポ	63枚
輪ゴム	60本
通し糸(ポピン巻き)	1巻
通し糸(カード巻き)	1巻
荷札(糸通し用)	1枚

※セロテープは、別途ご準備ください。

完成したら
完成した凧は、ダンボール箱等に収納して下さい。その際、連凧は最後尾からあげ始めるので、最後尾が一番上になるように収納して下さい。

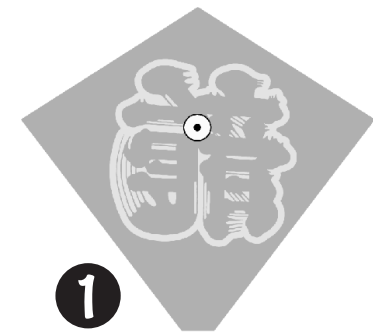
あげる時の注意

- 風の方向を確認し、風下に障害物がないかどうか確認してください。
- 糸が絡まりますので、まとめた状態で手放さず一枚一枚あげて下さい。
- 思わぬ動きをすることがあるかも知れないので、左右に揺られたときにも、障害物に当たらない余裕のある広い場所であげましょう。

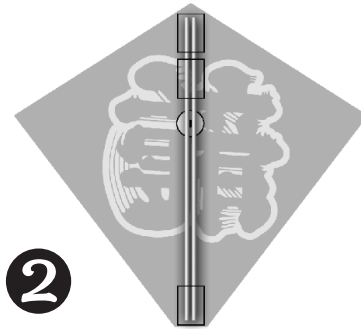
注意

保護者の方へ 必ずお読みください。

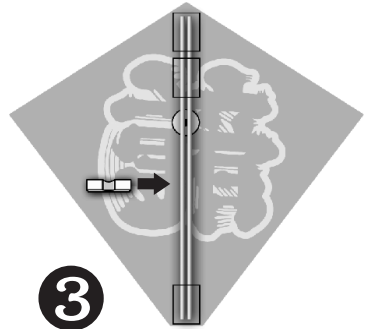
- 事故の危険があります。電線、線路、道路、空港近くで、遊ばないでください。
- 万一、電線にからんだ時は、近くの電力会社や、駅などに連絡をしてください。
- タコ糸を首にかけてぶざけたりしないでください。
- 誤飲やタコ糸による窒息などの事故の危険がありますので、3才未満のお子様は絶対与えないでください。
- タコ糸は指などにきつく巻きつけたりしないでください。
- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。
- 小さなお子様は、保護者と一緒にあげるようにしましょう。
- タコ糸などで手を切らないよう、手袋をしてあげましょう。
- タコあげに用いる糸は、金属製のものは危険ですので、絶対に使わないでください。
- 火のそばで使用しないでください。思わぬ事故や商品の変形を引き起こすおそれがあります。



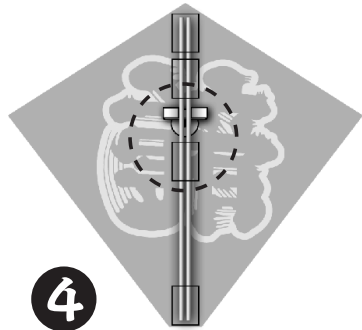
1 Stick a hole seal.
To reinforce the hole, stick a hole seal on the sheet back to meet the hole position.



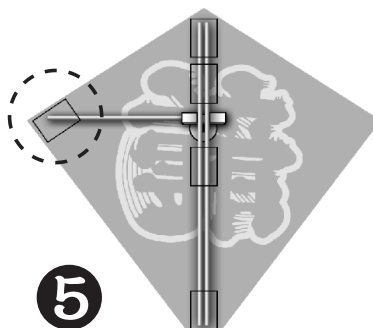
2 Attach the center spars.
Using scotch tape, attach the two spars (bng).



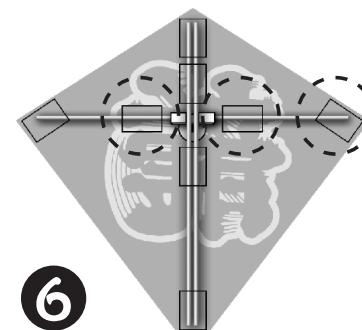
3 Put a connector.
Put a connector underneath the spars.



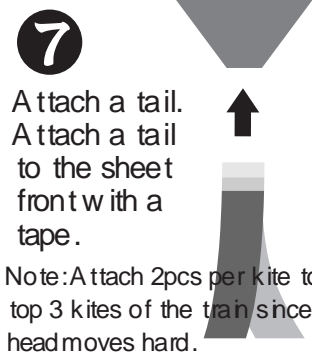
4 Shift the connector.
Shift the connector upward and fix the spars with a tape.



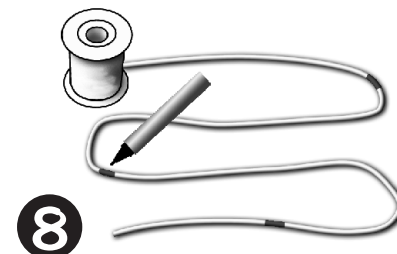
5 Insert a cross spar.
Insert a cross spar (short) into the connector and fix it with a tape.



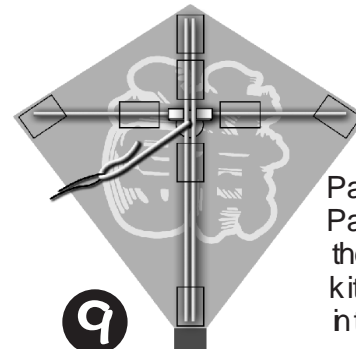
6 Insert a cross spar.
Insert a cross spar into the connector and fix it with a tape.



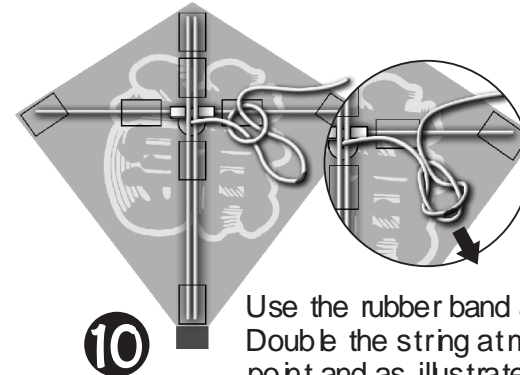
7 Attach a tail.
Attach a tail to the sheet front with a tape.
Note: Attach 2pcs per kite to the top 3 kites of the train since the head moves hard.



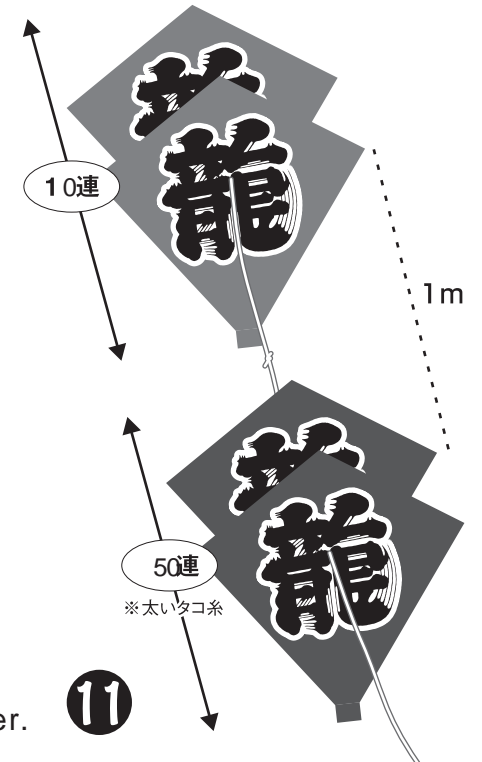
8 Mark the string.
Mark the string at the intervals of 1m.
(10 marks on thin string, 50 marks on thick string).



9 Pass the string.
Pass the string through the kites and move each kite to one of the marked intervals.

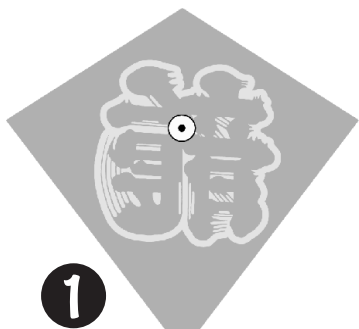


10 Use the rubber band as stopper.
Double the string at marked point and as illustrated, tie it with a rubber band.

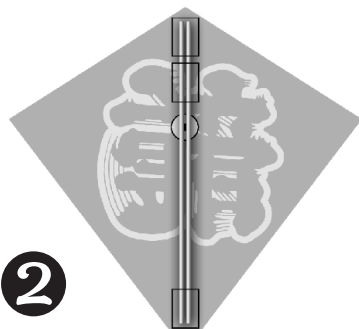


11 Tie 10kites train to 50kites train.
※太いタコ糸

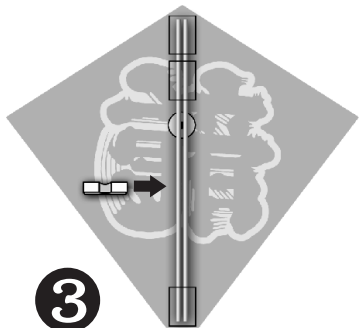
さあ、組み立ててみよう!



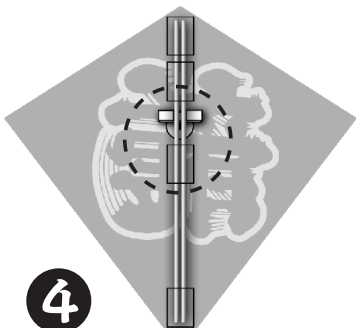
1 Stick a hole seal. To reinforce the hole, stick a hole seal on the sheet back to meet the hole position.



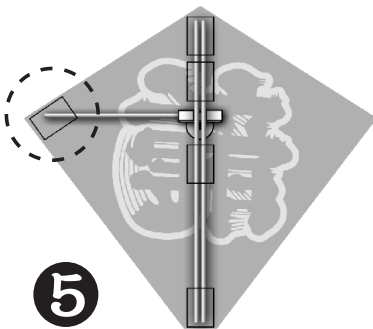
2 Attach the center spars. Using scotch tape, attach the two spars (long).



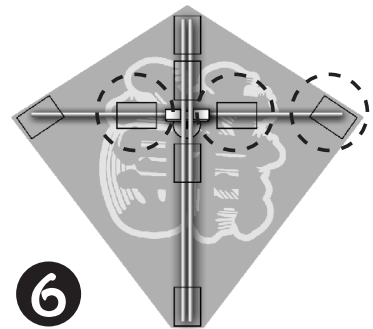
3 Put a connector. Put a connector underneath the spars.



4 Shift the connector. Shift the connector upward and fix the spars with a tape.



5 Insert a cross spar. Insert a cross spar (short) into the connector and fix it with a tape.



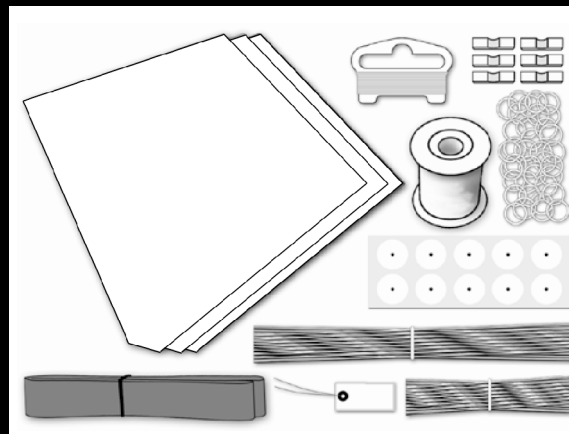
6 Insert a cross spar. Insert a cross spar into the connector and fix it with a tape.

みんなで 70 連凧作成キット

..... ダイヤ型連凧について



目立たない小さな凧が一本のラインで繋がれ連凧になると、天に駆け昇る龍さえ想像させる姿に変化します。一人一人の力が、一つの心の糸で結ばれると人を感動させるほどの大きな力となることをぜひ体験して下さい。



まず、部品を確認してください。

シート	70枚
連凧用ジョイント	70個
縦骨(長)	140本
横骨(短)	140本
補強シール	70枚
シッポ	73枚
輪ゴム	70本
通し糸(ポピン巻き)	1巻
通し糸(カード巻き)	1巻
荷札(糸通し用)	1枚

※セロテープは、別途で準備ください。

完成したら
完成した凧は、ダンボール箱等に収納して下さい。その際、連凧は最後尾からあげ始めるので、最後尾が一番上になるように収納して下さい。

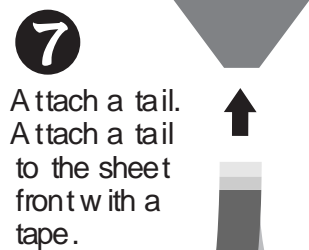
あげる時の注意

- 風の方向を確認し、風下に障害物がないかどうか確認してください。
- 糸が絡まりますので、まとめた状態で手放さず一枚一枚あげして下さい。
- 思わぬ動きをすることがあるかも知れないので、左右に振られたときにも、障害物に当たらない余裕のある広い場所であげましょう。

注意

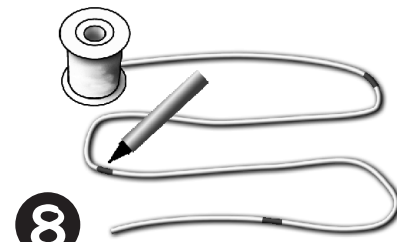
保護者の方へ 必ずお読みください。

- 事故の危険があります。電線、線路、道路、空港近くで、遊ばないでください。
- 万一、電線にからんだ時は、近くの電力会社や、駅などに連絡をしてください。
- タコ糸を首にかけてふざけたりしないでください。
- 誤飲やタコ糸による窒息などの事故の危険がありますので、3才未満のお子様は絶対与えないでください。
- タコ糸は指などにきつく巻きつけたりしないでください。
- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。
- 小さなお子様は、保護者と一緒にはげようにしましょう。
- タコ糸などで手を切らないよう、手袋をしてあげましょう。
- タコあげに用いる糸は、金属製のものは危険ですので、絶対に使わないでください。
- 火のそばで使用しないでください。思わぬ事故や商品の变形を引き起こすおそれがあります。

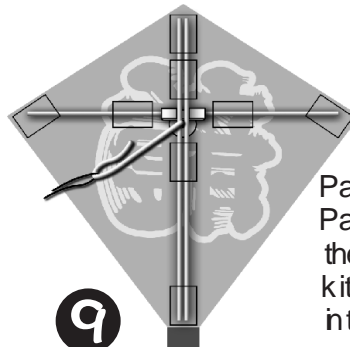


7 Attach a tail. Attach a tail to the sheet front with a tape.

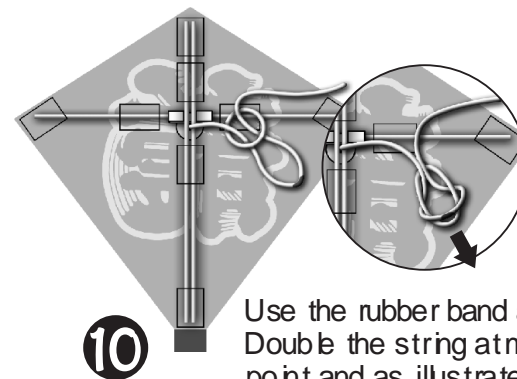
Note: Attach 2pcs per kite to the top 3 kites of the train since the head moves hard.



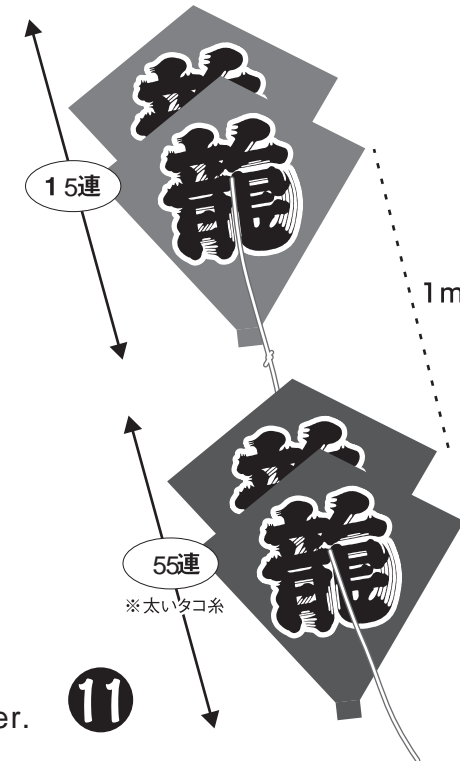
8 Mark the string. Mark the string at the intervals of 1m. (15 marks on thin string, 55 marks on thick string).



9 Pass the string. Pass the string through the kites and move each kite to one of the marked intervals.



10 Use the rubber band as stopper. Double the string at marked point and as illustrated, tie it with a rubber band.



11 Tie 15kites train to 55kites train.